

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会	主 査 名：竹内 徹 就任年月：2009 年 4 月 委員長名：中島正愛 主 査 名：緑川光正
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『鋼構造座屈設計指針』2009年改定後の検討テーマの抽出および研究成果のPD等を通じての公表，さらに内外の意見を反映したうえで出版物としての取り纏め。 2009 年度：指針改定に伴う講習会の実施および内容の再レビューを行い，検討すべき座屈設計に関するテーマの絞り込みを行う。 2010 年度：各テーマごとの具体的な調査・研究を実施し，委員会内での意見交換を通じ修正，充実させる。 2011 年度：取り纏めた資料・提案を大会 PD で公表し，内外の意見を問う。 2012 年度：意見を反映させた資料・提案を出版物『鋼構造物の座屈に関する諸問題 2013』として執筆・編集。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：竹内徹 (東京工業大学) 幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学) 委員：多田元英 (大阪大学)，荒木慶一 (京都大学)，井戸田秀樹 (名工大学)，金尾伊織 (京都工芸繊維大学)，木村祥裕 (東北大学)，田川浩 (名古屋大学)，藤本益美 (大阪市立大学)，小崎均 (日建設計)，宇佐美徹 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	480,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s15/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：座屈に関する設計上の諸問題 ーいま、新しい視点で座屈を考える 『構造部門 (鋼構造) パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 219 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 『鋼構造物の座屈に関する諸問題 2013』に向けた検討テーマとして抽出した 13 テーマをに関し実験、解析等の検討を実施し、新たな知見を得ることが出 来た。 2. 上記 項目中5テーマについて大会でのPDを実施し、200名超の参加者を得た。 3. PD での意見を反映し、出版用原稿を現在執筆中。2013 年春出版予定。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員が日本各地に散在しているため、交通費がかかる。このため普段は各委 員で検討を進め、年 3～4 回に集約して集中的に審議を行っている。 2. テーマの検討には実験等の費用も発生するため、委員各自の外部資金獲得努 力が必要となる。